

## 登山道維持協力金の収受結果

# 令和4年度の登山道維持協力金の合計収受額は、433万4,833円、 令和3年度に比べ、22%減となった。

- 令和4年度の登山道維持協力金の収受は、実証実験期間中に、以下3種の方法で行った。
  - A) クレジットカード決済（オンライン）
  - B) 山小屋での現金支払い
  - C) 銀行振込
- 各方法の合計による協力金収受額は、**433万4,833円**（前年度の22%減）となった。
- 最も金額が高かったのは銀行振込の**182万2,300円**（前年度の71%増）、次いで山小屋での現金支払いの**135万9,340円**（前年度の94%増）、クレジットカード決済の**115万2,493円**（前年度の69%減）となった。

	令和3年度			令和4年度					
	総額(円)	件数(件)	平均額(円)	総額(円)	増減率(%)	件数(件)	増減率(%)	平均額(円)	増減率(%)
合計	5,526,023	-	-	4,334,833	-22%	-	-	-	-
A)クレジットカード決済	3,750,502	1,354	2,770	1,152,493	-69%	429	-68%	2,686	-3%
(手数料を引いた額)	3,544,288	1,354	2,618	1,089,122	-69%	-	-	-	-
B)山小屋での現金支払い※1	699,818	1,400※3	-	1,359,340	94%	2,120※3	51%	-	-
C)銀行振込※2	1,065,703	149	7,152	1,823,000	71%	41	-72%	44,463	522%
その他	10,000	1	-	-	-	-	-	-	-

※1：令和4年度の山小屋収受分は北アルプス山小屋友交会への寄付30万円を含む

※2：令和4年度の銀行振込収受分は100万円・1件の高額支払いを含む

※3：総額から一口500円で算出した推定件数（令和4年度については、※1の寄付30万円は1件としてカウントした）

# クレジットカード決済による収受額は115万2,493円（429件）、平均支払い額は2,686円、中央値は1,058円であった。

## ■ 総額・件数・平均額 等

- クレジットカード決済による合計収受額は**115万2,493円**、合計件数は**429件**。  
※同金額には決済代行のカード会社への支払い手数料も含まれる。手数料を差し引いた総額（手元に残る金額）は108万9,122円。  
※件数は同一人物の複数回振込分も含まれる。
- 支払われた金額の**平均値は2,686円**、**中央値は1,058円**。  
※寄付 1 回において支払い者が自身単独分として支払っているケースと、複数人分をまとめて支払っているケースの両方が含まれることに留意が必要。
- 昨年度に比べて金額、件数ともに減少。平均値、中央値等の傾向は変化なし。

金額	R3年度	R4年度
総額（円）	3,750,502	1,152,493
（手数料差引後）	3,544,288	1,089,122
件数（件）	1,354	429
平均値（円）*	2,770	2,686
中央値（円）*	1,058	1,058
最小値（円）*	317	500
最大値（円）*	50,000	52,910

\*手数料を含む

## ■ 単発／継続別の総額・件数

- クレジットカード決済は、支払い時に「単発」あるいは「継続」のいずれかを選択できるシステムとなっていた。「単発」は 1 回のみ支払い、「継続」は設定した金額が毎月引き落とされるもの。
- 同システムにおいて、「単発」で支払われた件数は**335件**、「継続」で支払われた件数は**94件**。
- 「単発」か「継続」かの構成比は、昨年度に比べ、「継続」が増加。

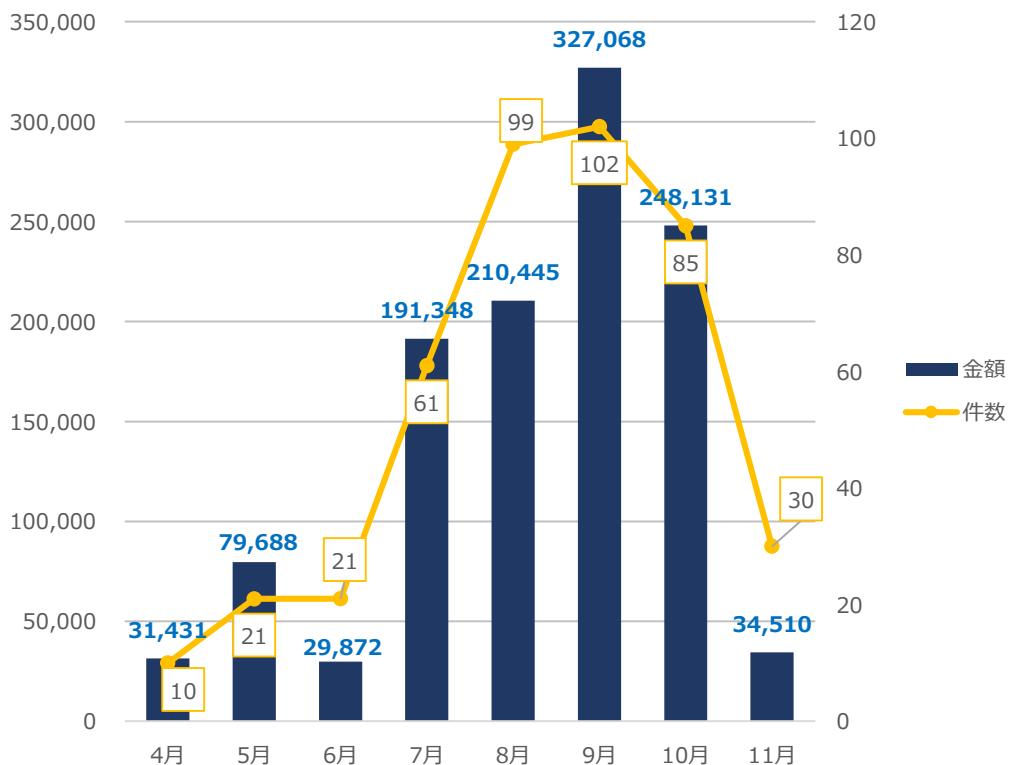
	R3年度		R4年度	
	単発	継続	単発	継続
総額(円)*	3,684,198	66,304	1,059,663	92,830
件数(件)	1,283	71	335	94
件数割合(%)	94.8%	5.2%	78.1%	21.9%

\*手数料を含む

# 月別の合計金額、件数では9月が最も多く32万7,068円と全体の3割弱、金額帯別件数では1,000円台が最も多く4割弱を占めた。

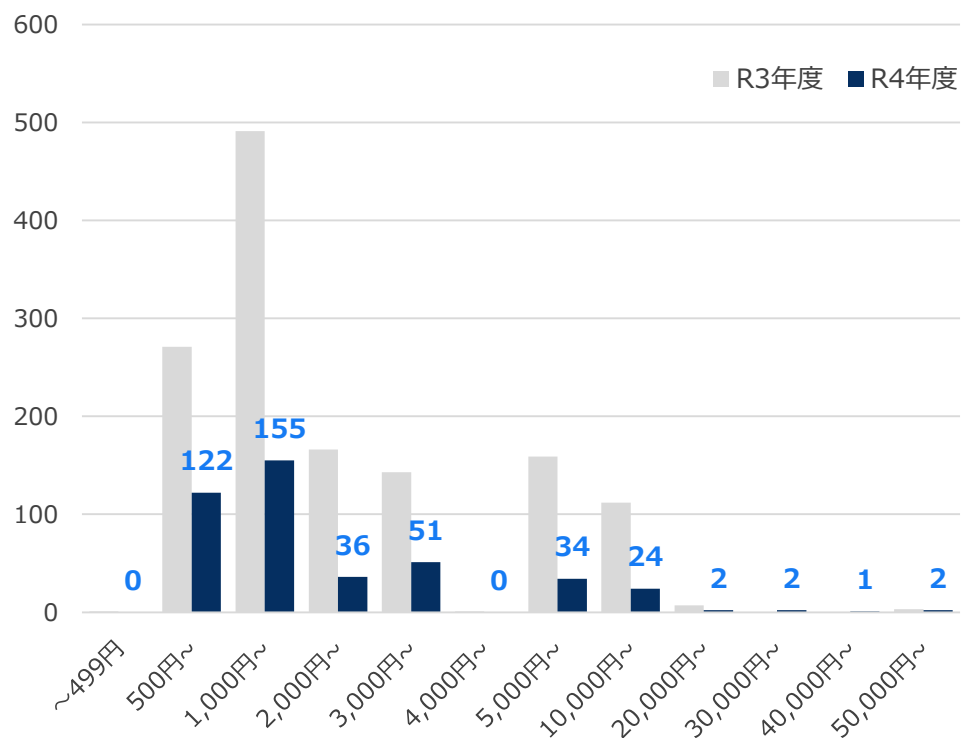
## ■ 月別の金額・件数

- 月別に合計金額、合計件数を見ると、いずれも **8月～10月の夏山～紅葉シーズン**にかけて集まった。
- その中でも**9月**が最も多く、それぞれ327万680円・102件（それぞれ全体の28.4%・23.8%）であった。
- 4～6月、11月は同程度（10～30件）であった。



## ■ 金額帯別の件数

- 金額帯では、**1,000円台が最も多く**155件（36.1%）、**次いで500円台**が122件（28.4%）。
- 2,000円～3,000円台、5,000円～10,000円台の支払いも同程度、それぞれ約20～50件（10%前後）見られた。
- 以上は、昨年度の傾向と概ね同様であった。



# 年代別では件数・合計額シェアともに50代が最も多く約3割、平均額は年代が上がるにつれて上昇した。居住地では関東地方が最も多く6割以上。

## ■ 年代別の合計額シェア・件数・平均額

- 年代別では、件数、合計額シェアともに**50代が最も多く29.8%**を占めた。次いで40代が26.9%、60代が26.1%。
- 平均額は年代が上がるにつれて上昇**する傾向にあり、20代の1,040円に比べ、70代は3,355円と差が開いた。
- 以上は、令和3年度の傾向と変化はなかった。

R3年度	地方	合計金額 (円)	合計件数 (件)	平均額 (円)	合計金額シェア (%)
	20代	104,620	70	1,495	2.8%
	30代	433,474	207	2,094	11.6%
	40代	953,105	346	2,755	25.4%
	50代	1,226,451	436	2,813	32.7%
	60代	791,067	238	3,324	21.1%
	70代以上	211,267	43	4,913	5.6%
	その他	30,518	14	2,180	0.8%
	総計	3,750,502	1,354	2,770	100.0%

R4年度	地方	合計金額 (円)	合計件数 (件)	平均額 (円)	合計金額シェア (%)
	20代	27,046	26	1,040	2.3%
	30代	84,668	57	1,485	7.3%
	40代	310,010	104	2,981	26.9%
	50代	343,163	125	2,745	29.8%
	60代	300,376	91	3,301	26.1%
	70代以上	87,230	26	3,355	7.6%
	総計	1,152,493	429	2,686	100.0%

## ■ 居住地別の合計額シェア・件数・平均額

- 居住地別では、件数、合計額シェアともに**関東地方**（東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県）が最も多く62.1%を占めた。次いで、近畿地方（19.0%）、中部地方（15.2%）。
- 平均額は、**関東地方が最も高く3,007円**と、唯一3千円台を超えた。
- 合計額シェアは令和3年度と同様の傾向だったが、平均額は令和3年度は中四国地方が最も高かった。

R3年度	地方	合計金額 (円)	合計件数 (件)	平均額 (円)	合計金額シェア (%)
	北海道・東北	37,418	24	1,559	1.0%
	関東	2,217,422	753	2,945	59.3%
	中部	679,458	290	2,343	18.2%
	近畿	551,395	201	2,743	14.8%
	中四国	88,543	28	3,162	2.4%
	九州・沖縄	111,474	37	3,013	3.0%
	無回答	51,623	17	3,037	1.4%
	総計	3,737,333	1,350	2,768	100.0%

R4年度	地方	合計金額 (円)	合計件数 (件)	平均額 (円)	合計金額シェア (%)
	北海道・東北	8,995	5	1,799	0.8%
	関東	715,730	238	3,007	62.1%
	中部	174,826	84	2,081	15.2%
	近畿	219,168	82	2,673	19.0%
	中四国	15,343	6	2,557	1.3%
	九州・沖縄	4,204	3	1,401	0.4%
	無回答	14,227	11	1,293	1.2%
	総計	1,152,493	429	2,686	100.0%

# 山小屋22軒での現金支払いにおける合計収受額は135万9,340円、令和3年度の94%増となった。

## ■ 総額・件数・平均額 等

- 山小屋での現金支払いにおける合計収受額は**135万9,340円（前年度の94%増）**となった。収受対象の山小屋軒数は22軒となっている。
- 収受額の総額、対象の小屋数から算出した山小屋1軒当たりの金額は**61,788円**となった。

※ 令和4年度の山小屋収受分は北アルプス山小屋友交會へ登山道等維持活動のために支払われた寄付30万円を含む。

※ なお、回収した現金を北アルプス登山道等維持連絡協議会の協力金口座に入金する際に手数料が発生するため、差引後の金額が最終的な収受実績となる。

	R3年度	R4年度	増減率
総額（円）	699,818	1,359,340	94%
小屋数（軒）	21	22	-
平均値（円）	33,325	61,788	85%
推定件数（件）	1,400	2,120	51%

# 銀行振込における合計収受額は182万3,000円（前年度の71.1%増）、合計件数は41件（前年度の72.5%減）と、合計額は増加した。

## ■ 総額・件数・平均額 等

- 銀行振込における収受額合計は182万3,000円（前年度の71.1%増）、収受件数合計は41件（前年度の72.5%減）。
- 総額と件数から求めた平均値は44,463円、中央値は3,000円。いずれもクレジットカード決済分に対して、高い支払い額となった。
- 令和3年度と比べ、支払われた総額は増加したものの、件数は大幅に減少した。

※ なお、100万円、30万円の高額支払いがそれぞれ1件ずつあった。

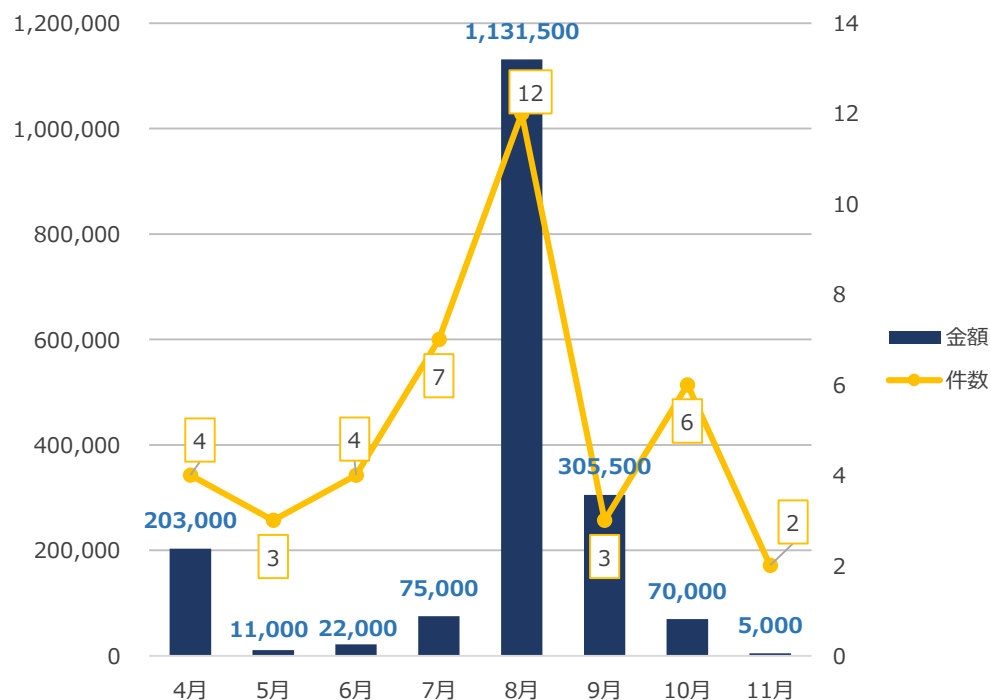
	R3年度	R4年度	増減率
総額（円）	1,065,703	1,823,000	71.1%
件数（件）	149	41	-72.5%
平均値（円）*	7,152	44,463	521.7%
中央値（円）*	3,000	3,000	0.0%
最小値（円）*	500	500	0.0%
最大値（円）*	100,000	1,000,000	900.0%

\*手数料を含む

# 月別の合計金額・件数では8月が最も多く113万1,500円、金額帯別件数では1,000円台が最も多かった。

## ■ 月別の金額・件数

- 月別に合計金額、合計件数を見ると、いずれも**8月**が最も多く、それぞれ113万1,500円・12件であった。
- 件数は、6月から8月にかけて増加、9月に大きく減少、その後10月に増加した。
- 金額は、8月に次いで多かったのが9月、4月となった。



## ■ 金額帯別の件数

- 目安として示された1口500円の金額に対して、概ね2口の**1,000円での支払いが最も多く8件** (19.5%)、次いで概ね10口の10,000円が6件 (14.6%)、500円と5,000円がそれぞれ5件 (12.2%) であった。
- なお、令和3年度は、1,000円に次いで5,000円、10,000円の支払いが多かった。

